

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【数学科】

1. 対象

本学習集団は、中学部1年生6名（男子5名、女子1名）である。自分から教師や友達と関わり合うことを楽しむ様子が見られる生徒や、少しずつ教師や友達との関わりを楽しめるようになってきた生徒がいる。言葉でのやりとりができ、一斉授業で、教師の発問に答えたり、友達の発言に関心を持てる生徒と、発問に対する答えとして選択肢を用意したり、友達の発言への意識が持てるように個別支援が必要な生徒がいる。

本集団は、当初、一斉授業では教師の話や教材に注目したり、友達の発言を聞いたりすることが苦手な生徒が多かった。また、既習の内容であれば、自分から発言したり、プリント課題にも積極的に取り組んだりする様子が見られるが、新しい学習であると、難しい、苦手だと感じ、消極的になる様子があった。しかしながら、これまで、教師の発問や友達の意見を聞いて考えてみる学習や、自分の意見や思いを持ち、伝え合う学習を積み重ねたことで、教師の話や友達の意見を聞いて学習内容に興味を持ち、発問に対して自分で考えたり、課題に自分から取り組もうとしたりする姿が見られるようになってきている。また、自分の考えを教師や友達に聞いてほしい、伝えたいという気持ちが高まり、より課題に意欲的に取り組もうとする姿も見られはじめている。このことから、本単元でも課題に対して皆で考えて意見を交換しながら解決したり、分かったという実感を持ったりできることを大事にしたい集団であると言える。

2. 単元名「長さを測ろう！」（全9時間）

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定規、メジャー等の計器の目盛りの原点を測るものの端に当てて測定できる。 ・ mm、cm、mの目盛りを読むことができる。 ・ 長さのおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いたりして測定できる。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測るものを見て、どの単位で表せばいいのか、どの計器を使って測れば良いか等を考え、測定できる。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 測りたい物を自分から見つけたり、測ろうとすることができる。 ・ 授業で学んだことが自分の生活に生かせることに気が付くことができる。

4. 本時の目標 省略

5. 授業展開【 単元 】

解決したい課題や問い
身の回りの物の長さを知りたいときや、ゲーム（ポッチャなど）の球と球の距離を測りたいときに正しく測りたい

考えるための材料
一次「長さカルタをしよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 15cm定規、30cm定規 ・ cm単位の長さ、mm単位の長さの短冊をカルタに見立てたゲーム
二次「身の回りのものの長さをはかってみよう」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1mのテープ（1mのものを探してみよう） ・ 定規、メジャー（2mまでのもの、もっと長いもの）
三次「長さをはかろう まとめ」 <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの活動の写真や動画 ・ 学んできた「ポイント」の確認

想定される活動

- ・一次では「長さカルタ」を行うことで、正解をねらって定規を使って短冊を測る活動
- ・二次では1 mの長さのものを探するために、いろいろなものを自分で測ろうとする。
メジャーを使って、色んなものを測ろうとする。
- ・三次ではこれまで学んできたことを写真などで振り返る際に、自分たちの活動や学びに注目できる。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

一次での活動

- ・「長さカルタ」で0 cmを探し当てるために、定規でどのように測れば良いか考えたり、正確に取り札を取るための工夫をする。それを友達にも伝えて、より早くカルタ がとれるようになる。

二次での活動

- ・①測る対象を決めることや、測り方を教師の少ない支援で考えられるグループ、②教師の支援のもと活動するグループに分かれる。
「何を測ろうか？」→「どの道具で測る？」「あれ？足りない・・・。」「30cm 定規をいくつか使えばいいんじゃない？」「メジャーならいっきに測れるよ！」「メジャーの目盛りは読みづらい」など

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

- ・「長いものを測るときには長い定規を使えばいいんだ！」「定規を足しても測れる！」「メジャーならもっと簡単に測れるよ！」「すごい長いもの（メートル）を測るときにはメジャーが良いと思う」など、自分たちで考えたことをお互いに伝えあいながら、対象物を測ろうとする。
- ・定規でもメジャーでも、測る物の端を目盛りの0に合わせて測ることを覚えて、自分で測ることができる。